資料２

総合教育会議資料
R8.10.15

# 朝日学園開校に向けた準備の進捗状況について（報告）

## １　朝日学園が掲げる教育理念と３つの特色ある教育活動

【教育理念】

朝日・高根地域から始まる「新しい９年間の学び舎のカタチ」
すべてのこどもが『主人公』になれる学校

【３つの特色ある教育活動】
①自分に合ったペースで学ぶ授業
②好きを伸ばし、苦手を克服！みんなで学ぶ「朝日タイム」
③「その道のプロフェッショナル」から学ぶ連携プロジェクト

## ２　現在の取組について

（１）令和８年度は文部科学省指定の「教育課程柔軟化サキドリ研究校事業」を活用し、特色ある教育活動②の「朝日タイム」を今年度より試行している。

①朝日小学校の取組

国語、算数、社会の３教科に絞って、１～６年生が自分でやりたい教科を選択し、学習に取り組んでいる。

○国語→漢字の習得、作文づくり、紙芝居づくり、読書　等
算数→自分で問題にチャレンジ（下学年の学び直しもあり）
社会→地域の名産品調べ、国と国旗調べ、好きな人物の歴史調べ　等



地域の名産品調べ（社会）



上級生と下級生の教え合い（算数）

②朝日中学校の取組

国語、数学、社会、理科、英語、体育の６教科で選択し、１～３年生が自分でやりたい教科を選択し、学習に取り組んでいる。

○国語→小説づくり
数学→自分で取り組みたい分野の問題に取り組む

社会→歴史上の人物調べ等
理科→魚の剥製づくりなどの興味ある実験等に取り組む
英語→単語の習得等
体育→駅伝大会に向けた体幹づくり



駅伝大会に向けた体幹づくり



魚の剥製づくり（理科）

3　朝日タイムを試行しての成果○と課題●

○どの子も「やりたい」「できるようになりたい」ことに対して夢中になれる楽しい時間となっており、子どもたちが生き生きと学びに向かう時間となっている。
○近くにいる上級生に気軽に教えてもらえる安心感や下級生に教えることで上級生の自己肯定感や自己有用感の醸成にもつながっている。
○自分の「好きを伸ばす」ために継続的に取り組む姿が生まれてきた。
●好きを伸ばす視点と苦手を克服する視点があり、子どもたちの現状（力量）を踏まえ、どんな活動を仕組み、何に取り組むとよいのかの指導・支援を充実させていく必要がある。

4　今後の動き（令和１０年度の開校に向けて）

① 県教育委員会義務教育課の視察訪問を実施（９月２９日）。現在試行中の朝日タイムの授業を参観いただいた。
② 今年度試行している朝日タイムを週１回試行し、成果と課題を洗い出しながら、来年度の朝日タイムをより充実させる。現在は、小学校、中学校が別で朝日タイムを実施しているが、令和１０年度は義務教育学校となり、１～９年生は同じ部屋で学ぶ朝日タイムにつなげていく。
③ 令和１０年度には朝日タイムをはじめとする特色ある教育課程を文部科学省の特例校制度への申請を行う。（令和９年度申請予定）
④ 令和１０年度の開校および義務教育学校特認校（市内のどこからでも通える学校）について広く周知するため、オープンスクールを開催する。今年度は、令和８年１１月２日予定。
⑤ 令和９年度中に３教科（国語、社会、英語）における自分にあったペースで学べる授業のベースとなる３パターンのカリキュラム（どんどん、基本、じっくり）を市教育委員会が中心となり作成する。
⑥ 令和９年度中に特色ある教育活動③の連携プロジェクトにおいて CoIU の関係者、学生と令和１０年度以降の連携についての具体的な活動等について協議していく。

## 【参考】施設の整備について

1　施設整備の概要

・朝日小学校の既存校舎を義務教育学校に対応した学校とするため、一部の教室を後期課程（７～９年生）で必要となる特別教室などの新たな用途に改修

・増築校舎（木造２階建て　７３０．３７㎡）を既存校舎の南側に整備し、既存校舎と渡り廊下（鉄骨造２階建て　７５．４１㎡）で接続

・増築校舎には前期課程（１～６年生）で使用する複式学級に対応した教室６室と図書室、児童用トイレ、相談室、エレベータを整備

・既存校舎のトイレ改修、照明器具のＬＥＤ化、バリアフリー化、職員室の拡張、放課後児童クラブの校内開設にかかる区画分離などを実施

2　整備のスケジュール

（１）設計業務　　令和７年６月　～　令和８年３月

（２）整備工事

① 既存校舎トイレ改修　　令和８年６月　～　令和８年１０月

② 支障物件解体・移設　　令和８年６月　～　令和８年１０月

③ 既存校舎ＬＥＤ改修　　令和８年６月　～　令和９年１月

④ 本体工事（建築・電気・機械）　　令和８年１０月　～　令和１０年６月

⑤ グラウンド管理棟解体［予定］　　令和１０年５月　～　令和１１年３月

＜外観イメージ＞








＜教室＞

＜廊下＞







＜図書室＞